

## 令和6年度事業計画及び事業費

### 1 環境保全に関する交流推進事業 【 1,060 千円 】

#### (1) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の推進 510 千円

富山県は北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会のコーディネート自治体（任期：2年間）を務めており、NPECは富山県からその事務局業務を受託し、環境分科委員会の活動を推進する。

#### (2) 海洋環境保全パートナーシップの形成 550 千円

「産」、「学」、「官」それぞれの分野の機関、団体の専門家等とのパートナーシップを形成し、環日本海地域の環境協力の中核拠点を目指す。

- ・ 関係国・自治体・団体の視察・研修
- ・ 関係会議・学会への出席・参加

### 2 環境保全に関する調査研究事業 【 8,998 千円 】

#### (1) 漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業 7,568 千円

(国 海岸漂着物等地域対策推進事業補助金(7/10))

北東アジア地域の海を共有する自治体、市民等が、漂着物等の実態把握、国際協力の推進、市民の漂着物等に係る意識の向上、関係者による対策の連携強化などを図るとともに、漂着物等の発生の抑制に寄与するため、次の事業を実施する。

##### ① 海辺の漂着物調査

市民の参加を得て、漂着ごみ（マイクロプラスチックを含む。）の数、重量等を調査する。

##### ② 漂着物アート制作

市民に漂着ごみの発生抑制対策の実践を働きかけるため、漂着物を利用したアート作品の制作・展示及び造形遊びを実施する。

#### (2) 富山湾リモートセンシング調査事業 650 千円

空中ドローンを活用して、藻場を広域的に撮影し、画像分類技術を用いて定量的に評価する技術開発を行い、現状の把握、市民活動の効果検証等に活用する。

#### ③ 漂着ごみの定量化技術開発事業 500 千円（鹿児島大学 [共同研究]）

空中ドローン、ウェブカメラ等を活用して、ごみが漂着する海岸を広域的、連続的に撮影し、AIを用いてごみ体積の推計を行う。また、推計ごみ体積を補正するために、撮影場所におけるごみの量や組成について調査を行う。この技術開発を鹿児島大学等と連携して行い、現状の把握、市民活動の効果検証等に活用する。

#### (4) 中国遼寧省との環境保全対策協力事業 280 千円

富山県と遼寧省は友好県省を締結しており、これまで水質及び大気分野で環境共同調査研究を実施している。環境保全の施策や環境調査の実施等について、情報交換を行う。

### 3 環境保全に関する施策支援事業

【 2,967 千円 】

#### (1) 広報・普及啓発 1,225 千円

##### ① ウェブページによる情報発信

ウェブページの内容の充実に努め、NPECの活動状況、各種の環境情報等の発信を行うとともに、通信環境の維持管理、セキュリティ向上等を図る。

##### ② 国際環境協力の連携・発信

豊かな海づくりにつながる国際環境協力事業を市民に発信するとともに、環境サポーター団体等が実施する環境活動との連携を通じて、NPEC事業の発信力向上を図る。また、メルマガ、出前講座等を通じて市民への普及啓発を行う。

#### (2) 北東アジア地域生物季節調査推進事業

サクラの開花、トンボの初見等の気候変動の影響を身近に感じることができる「生物の季節変化」に注目し、富山県と連携して、北東アジア地域の各自治体での調査及び学習会の実施を促進し脱炭素社会への意識醸成を図る。

- ・ 生物季節調査及び学習会の実施
- ・ 各自治体職員等との事業実施に関する意見交換会（オンライン形式）の開催

#### (3) 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 1,500 千円

北東アジア地域の青少年を対象に、持続可能な開発目標（SDGs）・環境問題に関する意見交換、環境保全活動等を通じて相互の友好と理解を促進し、持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材の育成を図る。

実施時期：令和6年8月

実施方法：オンライン形式

内容：環境保全活動の発表、文化交流、環境体験活動、環境宣言文の発表 他

#### (4) 北東アジア地域環境ポスター展推進事業 242 千円

北東アジア地域の各自治体が子供たちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を一堂に展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

展示時期：令和6年10月

展示場所：富山県富山市内（予定）

内容：北東アジア地域の自治体による環境ポスターの募集及び展示会の開催

#### (5) 国際環境協カインターン・ボランティアプログラム

インターンシップ実習生、ボランティアの受入れを通じて、将来の国際環境協力分野における人材を育成するとともに、大学等の研究機関との連携の強化、北東アジア地域の海洋環境保全に関する取組みへの理解の促進を図る。

### 4 NOWPAP 推進事業

【 37,731 千円 】

（うち富山県18,000千円、環境省19,731千円）

日本、中国、韓国及びロシアは北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）に基づき、日本海及び黄海の海洋環境保全のための事業に取り組んでいる。この事業活動の拠点として、各国に地域活動センター（RAC）が指定されており、日本ではNPECが特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センター（CEARAC）に指定されている。

CEARACでは各国と協調して日本海等の環境影響調査を実施するとともに、リモートセンシングを活用した特殊モニタリング手法の開発、統一的な富栄養化状況の評価、藻場マッピング活動を行っている。また、日本海等の生物多様性の保全に役立つ活動を実施している。

(1) 地域活動センター (RAC) 事業 24,731 千円 (うち富山県5,000 千円、環境省19,731 千円)

① NOWPAP 活動推進費

ア 日本海等の環境影響調査 14,731 千円 (環境省)



・ NOWPAP富栄養化状況評価手順書による予備評価の実施

「MODIS」に続く新たな海色センサである、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の「SGLI」、欧州宇宙機関 (ESA) の「OLCI」のデータの連続性について継続的に評価し、長期間のモニタリングが可能な海色データの作成を継続することにより、Global Eutrophication Watchの改良を進める。

・ 富山湾海域モニタリング調査

上記予備評価のために収集した、富山湾の現場測定データ及び IOPs (固有光学特性) データから、富山湾の透明度マップを作成する。

・ リモートセンシングを活用した藻場マッピング

ドローンを用いた藻場マッピング手法の精度向上を引き続き行うとともに、観測した藻場分布情報を基に、衛星画像の解析に必要な教師データの見直しを実施する。

・ 海草藻場におけるブルーカーボン変化量の推計

七尾湾において、海草藻場面積の季節変動の把握を試み、ブルーカーボンの変化量の推計を行うケーススタディを継続実施する。

・ 環日本海海洋環境検討委員会の開催

赤潮/有害藻類の異常繁殖 (HAB) をはじめ、リモートセンシング、富栄養化、生物多様性及び藻場マッピングの環日本海における海洋環境に係る課題、今後の活動の進め方等について助言を得るため、国内の専門家による環日本海海洋環境検討委員会を開催する。

開催回数：2回程度

開催地：東京都内

出席者：約20名



イ 環日本海海洋環境ウオッチ推進費 10,000 千円 (うち富山県5,000 千円、環境省5,000 千円)

海洋環境に関する人工衛星データを収集及び解析するため、環境省が平成13年度に設置した「環日本海海洋環境ウオッチシステム」の維持管理をクラウド上で行うとともに、インターネット上で人工衛星による海洋環境データを取得し、画像化して公開する。また、藻場マッピングツール Seagrass Mapperの運用を通じて世界各地の藻場現場観測データを収集するとともに、現場観測データのアップロード機能の拡張を進め、世界的な規模で藻場のマッピングに展開する。

(2) 地域活動センター (RAC) の運営 12,000 千円

① 会議費 6,000 千円

ア 会議への出席

各種の国際会議への参加

・ 11th WESTPAC International Marine Science Conference

開催時期：令和6年4月

開催地：タイ

参加者：2名程度

・ 2024 World Seagrass Conference & 15th International Seagrass Biology Workshop

開催時期：令和6年7月

開催地：イタリア

参加者：2名程度

- ・ 北太平洋海洋科学機関（PICES）年次会合2024  
開催時期：令和6年10月  
開催地：米国  
参加者：2名程度
- ・ Geo for Good 2024  
開催時期：令和6年10月  
開催地：米国  
参加者：2名程度
- ・ 21th Korea-Japan / 12th Asia Ocean Color Workshop  
開催時期：令和6年10月、11月  
開催地：インドネシア  
参加者：2名程度

イ CEARAC ウェブページの更新及び維持管理

CEARACの活動を広く紹介するため、関連するウェブページについて更新と保守管理を行う。

② 調査費 6,000 千円

① ア 令和6年能登半島地震に関わる能登半島・富山湾の藻場調査

高解像度の人工衛星画像の解析及び現地調査による藻場等沿岸生態系調査、環境DNA技術を活用した生態系モニタリング等を実施し、令和6年能登半島地震の影響を把握する。

イ 富栄養化調査

NOWPAP地域の富栄養化状況評価を支援することを目的に本活動に関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

ウ 海洋生物多様性調査

CEARACが実施する海洋生物多様性保全のための活動を支援することを目的に本活動に関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

② エ 赤潮/HAB 調査

赤潮/HABに関する活動を支援することを目的とした赤潮の重点対象種に関するウェブサイトの更新準備として、コクロディニウムに加え、新たな重点対象種であるカレニア・ミキモトイのほか、カレニア・セリフォルミスに関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

オ リモートセンシング調査

リモートセンシングに関する活動を支援することを目的に本活動に関する国内外の情報・資料を収集・整理する。

(3) RCU 連携費 1,000 千円

平成16年11月に設置されたRCU富山事務所を支援する。